

深谷久枝さん(72) 元町1丁目

すてきに人生



深谷さんは平成4年1月から今日まで、勝山市担当の行政相談委員をされており、このたびその長年の功績に対し、全国行政相談委員連合協議会長表彰を受けられました。

最初は活動内容をよく理解しないまま引き受けたそうですが、「気がついてから17年も経過していました。」と、受賞について笑って話されました。

日ごろさまざまな人と交流する中で、行政に対する苦情や要望をよく聞くのに、行政相談窓口に来られるかたが少ないことを常々感じているとのこと。住民の皆さんへの周知不足との認識から、さまざまな会合に出席すること、行政相談について「地域と行政

を結ぶ架け橋である」とPRしています。委員になつた頃と最近とでは、相談内容が複雑になつてきているそうですが、相談者のフレイバーに配慮し、相談内

容は常に自分の目で確かめ、しっかりと状況を把握することが最も大事であると考えておられます。「今後も相談者の良き聴き役となり、何でも言い合える雰囲気づくりを心がけ、どんな小さな要望にも親身になつて取り組んでいきたいです。」と、おだやかに語られました。行政相談は毎週第3水曜日、午前9時から正午まで、教育会館1階蘭・桜の間で行っています。



丸山さんは、定年退職をきっかけに3年前に勝山へUターンされました。それまでは法務省にお勤めで、福井をはじめ、名古屋、東京、九州と転勤され、長い間勝山から離れていました。現在は法務省での経験を活かし、裁判所の調停委員として、週に3、4日福井へ通っています。

ちょうどUターンされた頃に、同じUターナーの皆さんと市長との会合に参加され、そのときに地域に貢献したいという気持ちを強くしたそうです。そこで今では、雁が原スキー学校長、勝山市漁業協同組合理事、上袋田壮年会長と精力的に活動されています。



丸山忠男さん(63) 元町3丁目

すてきに人生

付いています。趣味はスキーとゴルフ。特にスキーは、ほぼ全国のスキー場を制覇していて、さらに、今年4月発行のスキー雑誌のエッセイコンテストで最優秀賞を受賞するなど、多才な一面をお持ちです。「勝山の自然は素晴らしい。」と、全国を回ってこられた丸山さんはおっしゃいます。ご実家が釣具店でもあることから参加している漁協理事として、「勝山の子どもたちに、九頭竜川の鮎釣りを教える機会をつくってきたい。」とのこと。スキー学校長もされていることから、「山と川でふるさとに貢献していきます。」とこやかに話されました。

初の県大会出場

毎週火・金・土曜日に練習に励んでいる、軟式野球チーム勝山北部ドリームズ。今から8年前、鹿谷スポーツ少年団として発足し、3年前に北部中学校下の小学生にまで対象を広げて現在のチームが立ち上がりました。当初は試合をしても、試合にならないほどの弱小で、昨年の地区大会でも全く歯がたたず、悔しい思いをしてきたとのこと。

しかし、その時の試合がきっかけとなり、気持ちを新たに今年の目標を決め、厳しい練習に取り組んできました。目標は「県大会で優勝するぞ」。毎回の練習の始まりと終わりにこの言葉を皆で掛け合い、着々と力を付けて、試合でも存分にその力を発揮できるようになりました。

4月29日、県大会出場をかけた勝山地区予選会において、結成以来初の優勝で目標へのハードルをひとつ乗り越えました。そして5月17日、念願の県大会での結果は、残念ながら1回戦敗退。しかし、忘れることのできない大会となったに違いありません。

監督の嶋田馨さん(37 鹿谷町発坂)は、「昔は、試合は勝たなければいけないと思っていましたが、今は、大きくなったときに良い思い



勝山北部ドリームズ

出となってほしいと思っています。そして、後に残るメンバーに続く形になってほしいですね。」と、語っていました。

北部ドリームズでは新メンバーを募集中です。北部中学校校区内の小学生で、男女を問わず募集しています。連絡は保護者会代表、上松さんまで。

090・89687451

子どもたちとアンサンブルを

荒井亮子さん(31) 東京都在住

5月24日に勝山城博物館でリサイタルを開かれた荒井亮子さんは、勝山市出身のバイオリニストです。まだ幼少の頃福井市に引っ越されましたが、家族が勝山に住んでいたため毎週1、2回必ず勝山に帰っていたそうです。

すてきに人生

荒井さんは勝山市で開催されたアスペン音楽祭の公開レッスンを受講して、音楽家としての道を踏み出しました。

中でも年に何回も勝山に帰って来ていて、勝山の景色や空気、そしておいしい食べものに癒され、日々がんばっています。今後の目標としては、「勝山も含め、福井の子どもたちと音楽(アンサンブル)を通して、本当の音楽の楽しさを教えたいです。」と音楽指導の方面への意欲を語っていました。最後に、「どんな演奏家になりたいですか?」と聴いたところ、「私がおばあちゃんになつても、『あの人の演奏なら聴きにいきたい』と言われるような演奏家になりたい!」と力強く、笑いながらおっしゃっていました。

